

知っていますか？ 介護のしごと

日本は急速に高齢化が進んでおり、2026 年度には約 240 万人の介護職員が必要とされると推計されています。また、2040 年度には約 272 万人の介護職員が必要とされる見込みです。

しかし、2022 年度の介護職員数は約 215 万人にとどまっており、必要な介護職員が確保できていないことに加え、2025 年は団塊の世代約 800 万人が 75 歳以上の後期高齢者となり、介護を必要とする人がますます増加することが予想されることから、介護職員の確保は喫緊の課題です。

今月は、介護職の現状や介護現場で働く人たちについて特集します。

■問合せ 介護課介護保険係 (☎ 23 - 3029)

介護職を取り巻く環境

介護職は慢性的な人材不足

介護職の人材不足は、介護サービスの質の低下や、現場で働く職員の負担増加を招く可能性があります。

特に、地方では介護職員の確保が難しく、都市部との格差が広がっています。介護職員の不足は、利用者の生活の質にも影響を及ぼし、家族の負担も増加することが懸念されています。

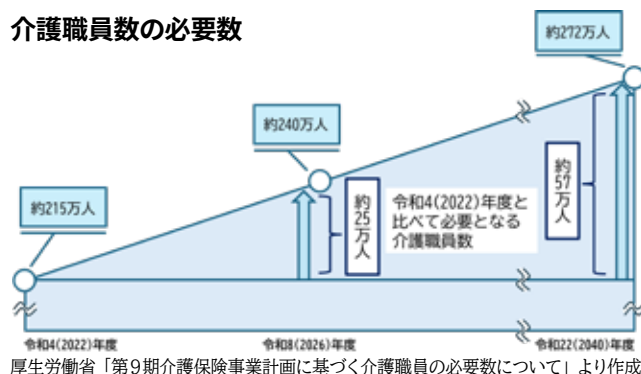
介護職の業務は、利用者の身体介護や生活支援、リハビリテーションの補助など、多岐に渡ります。これらの業務は、利用者の生活の質を向上させるために欠かせないものであり、その需要は今後も増加することが見込まれています。

町の取り組み

当別町でも、人材不足を原因として事業所が廃止となるなど、人材不足の影響を受けています。

町の社会（介護）資源を維持していくためには、介護人材の確保は急務であることから、これまで町と町内介護事業所で人材確保に関する意見交換会を 3 回開催しました。意見交換会では「人材確保をするために」をテーマに「町ができること」「事業所ができること」についてディスカッションを行い、人材確保に関する対応について継続的に意見交換を行っています。

介護職員数の必要数



介護職の待遇改善

国や町は、介護職の待遇改善や労働環境の整備に向けた取り組みを進めており、介護職員処遇改善加算や介護職員等特定処遇改善加算などの制度が導入され、給与の引き上げや手当の充実が図られています。しかし、全産業の平均年収と比較しても決して高い給与水準ではないため、さらなる制度の充実が期待されています。

また、介護職員の研修制度や資格取得支援の強化による職員の専門性向上、介護現場における多様な働き方の導入など、総合的な介護人材確保対策も進められています。例えば、介護現場における多様な働き方導入モデル事業では、リーダー的介護職員の育成や柔軟な勤務形態の導入により介護職の魅力を高めることで、より多くの人材が介護業界へ参入するように促しています。

介護の資格にはどんなものが？

介護福祉士

介護の仕事のリーダーとなる資格です。専門的な知識や技術をもって介護を必要とする人の自立生活を支援します。また、介護するご家族の相談や指導の役割もあります。

社会福祉士

社会福祉サービスを必要とする人の相談を受け、社会的に自立できるように問題解決のための支援を行います。

介護支援専門員

要介護者の最適なケアプランを考え、相談者に代わって市区町村や介護施設、介護サービス事業所などに連絡し、適切なサービスを受けられるよう調整します。

介護のしごと Q&A

Q 体力的にきつくない？

A 身体に負担がかかりそうなイメージがあるかと思いますが、介護技術の進歩や専門機器、IT技術の進化により身体への負担を抑える環境が整ってきています。

Q 未経験でも働ける？

A 未経験でも歓迎される業界です。介護に携わろうとする思い、誰かの役に立ちたい心が大切です。また、無資格で働ける職種もたくさんあります（家事サポート、送迎業務、調理員等）。

Q 夜勤のない職種は？

A デイサービス、訪問介護にはありません。

Q 介護職に就くメリットは？

A 資格を取得すると手当や給料がアップするなどキャリアアップにつながりやすいのがメリットの1つです。何よりも社会貢献度が高く、やりがいのある仕事です。

Q 介護職はフルタイムだけ？

A 介護職の働き方は多様で、パートタイムや夜勤専従などの勤務形態があります。

Q 働きながら資格は取れる？

A 3年の実務経験で介護福祉士の受験資格を得ることができます。

眠っている資格を活かしませんか？

以前介護の仕事をしていて復帰を考えている方に、介護の職場が変わってきている状況をお知らせし、その魅力を再発見していただくことを目的とした「潜在介護職員復職支援プログラム」を無料で受講できます。

プログラムは公益社団法人である全国老人福祉施設協議会と日本介護福祉会が運営する公益的なものです。

制度や申込みの方法については、以下のQRコードからご確認ください。



全国老人福祉施設協議会
潜在介護職員復職支援プログラム



介護現場で働く方々にお話を伺いました

子育てが落ち着いて

高校生の頃から介護関係の仕事に興味があり、子育てが落ち着いて仕事を探していたときに、ホームヘルパー2級（現・介護職員初任者研修）の資格を取ると訪問介護の仕事ができると知りました。一対一で利用者さんに寄り添いながら、生活のお手伝いができるやりがいのある仕事だと思い、当法人の講座を受講して資格を取り、働き始めました。

住み慣れたお家で生活するためのサポートに

利用者さんのご自宅へ訪問し、日常生活のサポートを行っています。入浴や食事介助などの身体介護、掃除や洗濯、買い物代行などの生活援助があります。

ヘルパーとして支援に入ること、利用者さんの生活が円滑になり、病状の安定や家族の介護軽減によって、1日でも長く住み慣れたお家で生活するお手伝いができることにやりがいを感じます。



社会福祉法人 勤医協福祉会
勤医協ヘルパーステーションとうべつ
介護福祉士
中鉢 圭子さん



当別町社会福祉協議会
当別町デイサービスセンター
社会福祉士
小森 建太朗さん

ボランティアイベントがきっかけに

高校時代、社会福祉協議会主催のボランティアイベントで高齢者施設へ伺いました。当時人見知りで人と話すことが苦手だった私に、利用者さんは笑顔でたくさん話をしてくれ、帰るときには何度も「ありがとう」と声をかけてくれたことで心が温くなりました。これがきっかけとなり福祉系大学へ進学。卒業後20年以上、相談援助の仕事に携わっています。

利用者の生活に潤いを

生活相談員として利用者さんやそのご家族の相談対応が中心です。ケアマネージャーと連携してデイサービス新規利用の手続きや生活上の課題解決をサポートしています。

デイサービスに来て運動したことで歩けるようになったり、美味しいご飯を食べられたりして、利用した方の生活が潤い、豊かになる瞬間を目にすることができるのが大きなやりがいです。

実家での祖母との暮らしから

実家では祖母とともに暮らしていて、幼い頃は、一緒に寝ることもよくありました。歳を重ねるうちに背中が曲がっていくなど、いずれ助けが必要になると考えていたのですが、高校時代に将来の進路を考えていた際、祖母のような人たちを支える仕事があることを知り、興味を持ちました。大学で福祉について学び、卒業後は相談員として働き始めました。

3つサービスで生活を支える

デイサービス、訪問介護、ショートステイの3つのサービスを提供している小規模多機能施設のケアマネージャーとして、利用者のニーズに合わせてサービスを調整するのが主な仕事です。

在宅が難しくなってきたり施設入所と迷っているような方を、3つのサービスによってケアをし、自立した生活を送るためのお手伝いができることが喜びです。



社会医療法人 豊生会
小規模多機能型居宅介護さくら
ケアマネージャー
難波 恵司さん

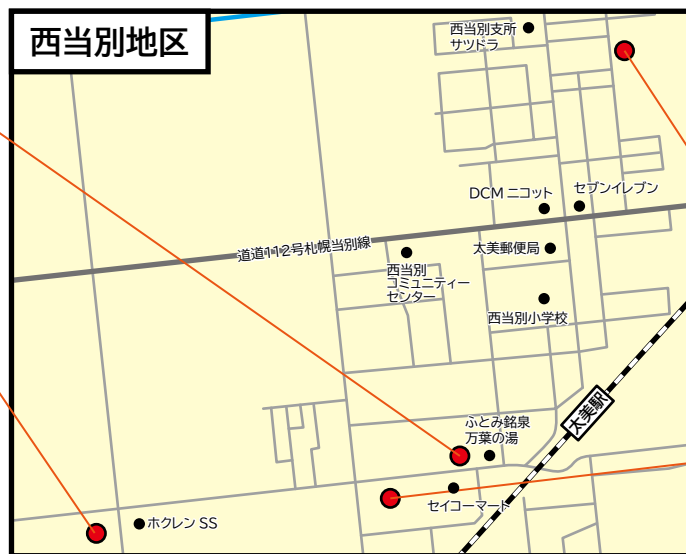
町内居宅介護支援事業所及びサービス提供事業所・施設

当別ケアプラン相談センター (☎25-2150)	ケアプラン
当別訪問看護ステーション (☎25-2150)	訪問看護
当別町地域包括支援センター (☎25-5152)	ケアプラン
当別町ホームヘルパー ステーション (☎25-2662)	ホームヘルパー
当別町デイサービスセンター (☎25-2663)	デイサービス
パークアベニューとうべつ (☎27-6611)	サ高住
勤医協当別居宅介護支援 事業所 (☎23-0453)	ケアプラン
勤医協ヘルパーステーション とうべつ (☎23-0466)	ホームヘルパー
勤医協当別デイサービス ふきのとう (☎23-3066)	デイサービス
勤医協訪問看護ステーション とうべつ (☎23-0453)	訪問看護
にわとこ (☎22-3877)	サ高住



ホームヘルパー ヘルパーステーション ajisai (☎22-2896)	ホームヘルパー
ホームヘルパー 訪問介護ステーション歩っと (☎27-6622)	ホームヘルパー
ケアプラン 居宅介護支援事業所ゆかり (☎25-2100)	ケアプラン
デイサービス ひまわり健康倶楽部 (☎25-2800)	デイサービス
ケアプラン 居宅介護支援事業所ハナミズキ (☎22-0015)	ケアプラン
小規模多機能 小規模多機能型居宅介護さくら (☎27-5560)	小規模多機能
ケアプラン 介護相談センター亜麻の海 (☎27-5111)	ケアプラン
ホームヘルパー ヘルパーステーションりっか (☎27-6655)	ホームヘルパー
デイサービス デイサービスセンター ふくろうの森 (☎27-5111)	デイサービス
サ高住 とうべつりっか (☎27-5277)	サ高住
福祉用具 福祉用具フラックス (☎27-5517)	福祉用具

有料老人ホーム らくら当別 (☎26-3344)	老人ホーム
愛里苑訪問 リハビリテーション (☎26-2874)	訪問リハビリ
愛里苑通所 リハビリテーション (☎26-2874)	通所リハビリ
介護老人保健施設 愛里苑 (☎26-2874)	老健 老健 ショートステイ



ケアプラン ケアプランセンター結 (☎25-3633)	ケアプラン
特養 特別養護老人ホーム 当別長寿園 (☎26-2380)	特養 特養 ショートステイ
特養 特別養護老人ホーム 長寿の郷 (☎26-2380)	特養 特養 ショートステイ
グループホーム らくらの家・ふとみ (☎27-5066)	グループホーム

事業所区分

在宅生活を続けるためのプランを作成します

- ケアプラン
- 居宅介護支援事業所
- 地域包括支援センター

利用者が施設に居住して介護サービスを受けます

- 特養
- 介護老人福祉施設
- 老健
- 介護老人保健施設
- 老人ホーム
- 特定入居者生活介護
- 介護予防特定入居者生活介護
- サ高住
- サービス付き高齢者向け住宅
- グループホーム
- 認知症対応型共同生活介護
- 介護予防認知症対応型共同生活介護

自宅で介護サービスを受けます

- ホームヘルパー
- 訪問介護
- 訪問型サービス
- 訪問看護
- 訪問看護
- 介護予防訪問看護
- 訪問リハビリ
- 訪問リハビリテーション
- 介護予防訪問リハビリテーション
- 福祉用具
- 福祉用具貸与
- 介護予防福祉用具貸与
- 特定福祉用具販売
- 介護予防特定福祉用具販売

利用者が施設に通って介護サービスを受けます

- デイサービス
- 通所介護
- 通所型サービス
- 地域密着型通所介護
- 認知症対応型通所介護
- 介護予防認知症対応型通所介護
- 小規模多機能
- 小規模多機能型居宅介護
- 介護予防小規模多機能型居宅介護
- 通所リハビリ
- 通所リハビリテーション
- 介護予防通所リハビリテーション
- 特養
- 短期入所生活介護
- 介護予防短期入所生活介護
- 老健
- 短期入所療養介護
- 介護予防短期入所療養介護